

令和8年度 沖縄県高等学校総合体育大会  
第74回 沖縄県高等学校バレーボール競技大会  
抽選会および代表者会議資料

日時：令和8年5月15日（金）14：30  
場所：北中城村立中央公民館（ホール）

### 1. 競技日程および会場

- 令和8年5月30日（土） 男女1回戦  
豊見城市民体育館 A・B・C・D（並行してサブコートにて定通制大会実施）  
那覇商業高校 E・F 南部農林高校 G・H
- 令和8年5月31日（日） 男女2・3回戦  
豊見城市民体育館 A・B・C・D  
沖縄工業高校 I・J 小禄高校 K・L 南風原高校 M・N  
中部商業高校 O・P 糸満高校 Q・R 豊見城南高校 S・T
- 令和8年6月1日（月） 男女準々決勝戦および決勝リーグ第1戦  
豊見城市民体育館 A・B・C・D
- 令和8年6月2日（火） 男女決勝リーグ第2・3戦  
豊見城市民体育館 A・B・C・D

<最終日のコート、組み合わせおよび試合順について>

決勝リーグ第2戦は、4コートで同時に行い、その組み合わせは、「第1戦の勝ちチーム」と、未対戦の「第1戦の負けチーム」とし、上位シードを有するチームの試合をB・Cコートで行う。ただし、シードが同順位、または、どちらともシード権を持っていない場合には、組み合わせ表の左に記載されているチームの試合をB・Cコートで行う。

決勝リーグ第3戦は、B・Cコートで行い、「第1戦の負けチーム」同士の試合を先に、「第1戦の勝ちチーム」同士の試合を後に行う。

### 2. 開館および試合開始時刻

開館時刻は、4日間とも08：50とする。

試合開始時刻は、10：00とする。ただし、大会最終日に限り09：30とする。

### 3. 参加チーム一覧

【男子】 北山 名商工 名護 北農 石川 前原 具志川 読谷 嘉手納 美里+美咲特  
美来工 コザ 美工 球陽 北谷 普天間 宜野湾 西原 浦商 浦工 陽明  
昭薬附 浦添 那工 那国際 興南 首里東 首里 沖工 沖尚 那商 那覇  
小禄 那覇西 開邦 南風原 知念 豊見城 豊南 南商 向陽 糸満 久米島  
宮古 宮総実 八重農 八商工 八重山 男子48(50)チーム

【女子】 北山 本部 名商工 名護 宜野座 石川 具商 前原 中農 具志川 与勝  
読谷 嘉手納 美里+美咲特 コザ 球陽 北谷 北中城 普天間 中商 宜野湾  
西原 浦商 昭薬附 浦添 那国際 興南 首里東 首里 沖工 沖尚 那商  
那覇 小禄 那覇西 開邦 南風原 知念 豊見城 南農 南商 向陽 糸満  
久米島 宮古 宮総実 八重山 女子47(46)チーム

計95(96)チーム

( )内は昨年度の数

#### 4. シードチーム

- 【男子】 第1～4シード：美工 首里 西原 那工  
ベスト8シード：宮古 豊南 宮総実 八重山  
会場運営シード：沖工 豊南 糸満 (8分の1ゾーン)
- 【女子】 第1～4シード：西原 具商 知念 首里  
ベスト8シード：小禄 向陽 前原 本部  
会場運営シード：小禄 中商 南風原 (8分の1ゾーン)

#### 5. 抽選手順

- ① 第1～4シードを入れる
- ② ベスト8シード：予備抽選 ⇒ 位置抽選
- ③ 離島チーム：予備抽選 ⇒ 位置抽選 (初戦での離島チーム同士の対戦を避けるため)
- ④ 会場運営シード：予備抽選 ⇒ ゾーン抽選+位置抽選
- ⑤ 南のチームから：予備抽選 ⇒ 位置抽選

#### 6. 代表者会議

- (1) 競技運営上の確認事項について
- (2) 審判上の確認事項について
- (3) 総務からの連絡事項について
- (4) その他

#### 7. その他

- (1) 「体罰根絶全国共通ルール」について  
⇒ 別紙および全国高体連Webサイト内の【体罰根絶に向けた取り組み】ページにある、「体罰根絶全国共通ルールの制定について(通知)及びQ&A」を参照  
( [https://www.zen-koutairen.com/pdf/konzetsu\\_rule\\_h05\\_0519\\_faq.pdf](https://www.zen-koutairen.com/pdf/konzetsu_rule_h05_0519_faq.pdf) )
- (2) ユニフォーム規定等について
  - ① 日本バレーボール協会「ユニフォーム規程詳解」の発行に伴う本専門部の対応について
  - ② 高体連主催大会におけるユニフォーム規定について(補注つき2026年版)
  - ③ 大会参加チーム構成員のウェアについて
- (3) 2026年度競技日程等について

県1年生	(南部地区・宜野座アリーナ)	8/10(月)・11(火)
春高予選	(中部地区・豊見城市民体育館)	10/31(土)～11/3(火)
定通秋季	(宜野湾高校第2体育館)	11/7(土)
県新人	(北部地区・豊見城市民体育館)	12/12(土)～15(火)
NIKKEI CUP	(中部地区・豊見城市民体育館)	1/23(土)～25(月)

## 競技運営上の確認事項

大会競技委員長

1. 本大会は、2026 年度公益財団法人日本バレーボール協会 6 人制競技規則および競技要項により実施する。
2. 試合は全て 3 セットマッチとする。準々決勝戦までトーナメント方式で行った後、上位 4 チームによる総当たりの決勝リーグ戦を行う。
3. 大会 1 日目の豊見城市民体育館のコート設営は、第 1 試合のチームが 08:50 に入館して行う。
4. 監督またはコーチは、試合当日 09:00\*より各会場にて行われる代表者ミーティングに必ず参加すること。ただし、第 4 試合以降のチームについては、その限りではない。  
\* 大会 1 日目の豊見城市民体育館の代表者ミーティング開始時刻は、コート設営完了の目処が立ち次第、競技副委員長より館内放送にて連絡する。
5. 開館および試合開始時刻は、「抽選会および代表者会議資料」に記載してある通りとする。全試合 60 分設定(試合開始時刻はホイッスル時間)で進行し、それより早く開始することはない。試合の当該チームは、前試合の両チームのコートアウト後(試合が連続する場合は、前試合の終了 15 分後)、レフェリーの指示に従ってコートインし、10 分間(補助員に引き続いて試合となる場合\*は、20 分間)の合同練習後、プロトコールに入る。前試合が早く終了した場合のコートイン時刻は、試合開始時刻の 25 分前とする。  
\* 補助員後に試合の両チームは、補助員を終え次第、速やかに試合の準備をすること。
6. 開館後から第 1 試合のプロトコールまでの、試合コートでのウォームアップについては、以下の通りとする。  
1・4 日目 入館～プロトコール ⇒ 第 1 試合の両チーム  
2・3 日目 入館～09:20 ⇒ 第 2 試合の両チーム  
09:20～プロトコール ⇒ 第 1 試合の両チーム
7. 大会使用球は、(公財)日本バレーボール協会検定人工皮革カラーボールとする。  
男子：ミカサ (V300W) 女子：モルテン (V5M5000)
8. チームの構成は監督・コーチ・マネージャー各 1 名、選手 14 名以内とし、選手が 13 名以上の場合、リベロプレーヤーを必ず 2 名含むこと。なお、監督・コーチ・マネージャーの各章は、規定のものを各チームで用意し、明確に判別できる位置に付けること。また、監督・コーチが外部指導者の場合は、登録証も身につけておくこと。
9. 引率責任者は、監督・コーチが共に外部指導者の場合、プロトコール時に、ファーストレフェリーによる所在確認を受けること。
10. 選手のエントリーおよびベンチスタッフの変更は、エントリー変更・追加届(公印のないものは受け付けない)の提出により行い、当該チームの初戦開始 30 分前までに、引率責任者が本部席にて行うこと。これ以降の変更は一切認めない。
11. 「ラインアップシート」は、公式ウォームアップ時にセカンドレフェリーまたはスコアラーに提出すること。

12. 隣のコートで試合が行われている場合のウォームアップはパス程度とする。
13. 競技エリア内でのウォームアップおよび公式ウォームアップは、チーム（上記8）で行うこと。ただし、統一された服装であれば、部員4名以内をボール拾いとして認める。また、チームから配置するクイックモッパー（下記17）についてもボール拾いとして認める。
14. 公式ウォームアップ終了15分後になってもコートにこないチームは棄権とする。
15. 補助員（記録・点示・ラインジャッジ）は8名とし、前試合の負けチームで行う。ただし、大会1日目の第1試合については、当該コートの第3試合の両チームで行い、大会2・3日目の第1試合については、当該コートの第2試合の両チーム<sup>(\*)</sup>で行う。また、大会4日目については補助役員を配置する。
  - \* 補助員後に試合の両チームは、補助員を終え次第、速やかに試合の準備をすること。
16. 給水のためのタイムアウト（給水タイム）を採用する。各セットにおいて、リードするチームが13点目に達した時、30秒間の給水タイムを自動的に適用する。第3セットについてはチェンジコート後に適用される。また、各セットのスコアが30-30になった場合にも適用する。
17. プレーヤーの安全とスムーズなゲームの進行を確保する目的で、各チームから2名のクイックモッパー\*を配置することができる。
  - \* 各チームは、フロアモッピングがスムーズに行えるよう、事前に、ルールブック p.161-p.162 の「フロアモッピングアシシステム」を熟読し、トレーニングしておくこと。
18. ユニフォームとは、ジャージ（シャツ）・ショーツ・ソックスを指す。ジャージ（シャツ）・ショーツは色およびデザインが、ソックスは色および長さが統一されていることとする。また、ジャージ（シャツ）は必ずショーツに入れなければならない。
19. 太鼓等\*の応援は、試合進行の妨げにならない限り認める。
  - \* 拡声器の使用は、試合への影響を考慮し、高校会場においては認めない。また、使用する際は、コートへ向けての使用は禁止とし、応援席側へ向けて使用すること。
20. ボールまたはプレーヤーが、隣接するコートの近い方のサイドラインを超えた場合、アウトオブプレーとなる。

## 「給水のためのタイムアウト（給水タイム）」の取り扱いについて

夏季の大会においては、高温多湿な環境でバレーボール競技を行うと、発汗による水分消失や体温上昇などにより、熱けいれん、熱疲労、熱射病などの「熱中症」に陥ることがあります。

本大会では、熱中症予防の観点から、選手、審判団の健康管理を維持するために「給水のためのタイムアウト（以下、「給水タイム」とする。）」を採用します。

### 【 給水タイムの手順 】

1. 各セットにおいて、リードするチームが13点目に達したとき、30秒間の給水タイムを自動的に適用する。第3セットは、チェンジコートをした後に適用する。また、両チームの得点が30-30となった場合は、特別に2回目の給水のタイムを実施する。
2. タイムアウトと同様に、副審がホイッスルで合図をして給水タイムに入る。30秒後に給水タイムの終了を副審がホイッスルで合図をする。
3. 給水タイムは、正規の試合中断の要求（タイムアウト、選手交代）やリベロリプレイスメントより優先される。上記を行う場合は、給水タイム終了後にその手続きを行う。
4. 各チームの選手は、自チームアップゾーン付近のフリーゾーンで給水を行う。
5. 給水タイムは、給水だけを目的としたものなので、選手（生徒のマネージャーを含む）だけで実施される。
6. ベンチスタッフ（生徒を除く）は選手との会話は認められない。
7. タイミングが遅れた場合は、確認できた時点で給水タイムを適用する。

## 審判上の確認事項

大会審判委員長

1. 本大会は、2026年度(公財)日本バレーボール協会6人制競技規則による。
2. チームは、監督・コーチ・マネージャー各1名、選手14名以内である。選手が13名以上の場合は、リベロを必ず2名含めることとする。
3. リベロは、チームキャプテンにもゲームキャプテンにもなることができる。
4. リベロは、チームの他の選手と、主要な部分の色が異なるユニフォームを着用しなければならない。ユニフォームの色は、チームの他の選手とは明らかに対照的でなければならない。2人のリベロはチームの他の選手と異なる色で、さらにお互いに異なる色のユニフォームを着用することもできる。
5. 試合開始前、監督は、選手の名前および番号を記録用紙のチーム選手欄に記入するか、記入されたものを確認した後、(チームキャプテンの番号を丸で囲み、リベロの番号を記入し)サインをする。また、チームキャプテンはチームを代表してトスを行い、トスの開始前と試合終了後にサインをする。
6. 各セットの開始前、監督は、正しく記入されたラインアップシートにサインし、セカンドレフェリーまたはスコアラーに提出する。ラインアップシートが提出されたら、正規の選手交代をせずに、ラインアップを変更することはできない。
7. セット開始前に行うラインアップシートとスターティングプレイヤーの照合の際は、リベロを確認する必要はない。(リベロはベンチで待機する。)
8. コート上で円陣を組んで掛け声をかけるケースについては、ラインアップシート確認後は最大限スターティングメンバーの6名とリベロ2名の計8名までとする。
9. タイムアウトを要求できるのは、監督のみである。その際ラリー終了後に公式ハンドシグナルで明確に示すこと。
10. チームメンバーによる不法な行為(相手に向かって“ガッツポーズ”などで挑発・威嚇する行為など)に対しては、競技規則第21条「不法な行為とその罰則」に則って罰則を適用する。
11. 判定に対する質問ができるのは、ゲームキャプテンのみである。監督や他の競技者からの質問は受けつけない。(判定へのアピール等は警告の対象となる。)
12. 試合の前後は、選手全員がエンドラインに整列し、主審の合図でセンターラインまで移動し、挨拶(握手)する。なお、監督とチームキャプテンは、審判員にも挨拶(握手)する。
13. 競技中のコートワイピングについては、プレイヤー自身がコートを拭くことを原則とする。  
(チームで乾いたタオルを多く準備して下さい。スターティングプレイヤー全員がタオルを持つことが望ましい。)ただし、ベンチ入りメンバー以外の部員からクイックモップ2名配置することができる。(ボールデッド後、次のサーブ許可の吹笛までにコート内の汗をチームで準備したタオルで拭き取る。タイムアウト中やセット間には、コート内のモップ掛けをおこなう。)

#### 14. 競技中の服装について

アンダーウェア等について（競技要項 p.62 抜粋）

- (1) アンダーウェアはユニフォームの袖や裾、首等からはみ出してはならない。ただし、プレーの動作によってユニフォームの下から見えてしまうことは故意に見せるものでない限り制限されない。
- (2) 医療を目的としたサポーター類は、プレー上危険である場合や、プレーに有利に働く場合を除いて、規制されない。
- (3) 明らかに色が違う腰に帯状にまくサポーター、コルセット類はユニフォームの下に着用しなければならない。

15. 各セットいずれかのチームが13点目を得た時に、審判は、給水のため30秒間のタイムアウトをチームに促す。（監督・コーチのもとに選手が集まらないように注意する。給水中はマネージャーも選手同様に給水をおこなう。）

#### 総務からの連絡事項

大会総務委員長

1. 参加者全員、服装を正し高校生としてふさわしい身なりと態度を心がけてください。
2. 各会場とも、体育館以外の施設へは立入禁止です。
3. 置き引き・盗難に注意して、貴重品はチームで責任をもって管理してください。
4. 各会場とも、ごみは各チーム責任を持って持ち帰りをお願いします。
5. 更衣室・ロッカーの占有は禁止です。チームの荷物を置きっぱなしにしないでください。
6. 体育館は土足厳禁となっています。外履き内履きの区別をしっかりとしてください。また、玄関の靴を脱ぎ履きするスペースは、靴を置く場所ではありません。他の人の出入りに迷惑が掛からないよう、玄関に靴を置きっぱなしにせず、チーム関係者は靴袋等を各自で準備し、靴の管理をお願いします。
7. 高校生の運転する車両での来場は禁止です。
8. 毎回忘れ物が多数出ます、気をつけて下さい。
9. 未登録の選手及び登録料未納の選手がいる場合、至急登録・支払いを済ませて、JVA チーム加入選手一覧表の差し替えをお願いします。
10. 各会場、駐車場スペースは限られています。毎回、違法駐車等、近隣住民からの苦情やトラブルが発生しています。混雑を避けるため、応援団の方々は公共交通機関等を利用する等、協力をお願いします。

2026年3月26日

各都道府県高体連バレーボール専門部 委員長様

(公財)全国高体連バレーボール専門部  
競技委員会

## 日本バレーボール協会「ユニフォーム規程詳解」の発行に伴う本専門部の対応について

2026年3月23日に日本バレーボール協会（以下 JVA）よりユニフォーム規程詳解が発表されました。この資料は現行規定の解釈を主目的としながら、アンダーウェアの着用に関しては一部改訂の内容が盛り込まれております。これを受け、本専門部における今後の対応方針を下記の通り決定いたしましたので、ご確認の上、関係各位への周知をお願いいたします。

また、資料として本専門部のユニフォーム規定を同封いたします。この規定には本専門部独自の取り扱いがあるため、JVA 規定と異なる点などについて補注を加えております。本専門部の規定についても周知のほど、よろしくお願いいたします。

### 記

#### 1 基本方針

本専門部のユニフォーム規定自体の改定は行わず、当面の間は運用の変更によって対応いたします。

#### 2 運用の背景

JVA において今後も継続的な見直しや改訂が予定されています。現段階で高体連の規程そのものを書き換えた場合、将来的な再改訂による現場の混乱が懸念されるため、今回は規程の変更を見送ることといたしました。

一方で防寒などアンダーウェアの着用目的を考慮し、規程の文言は維持しつつも、実際の大会運営においては JVA の改訂内容を先行して適用し、選手の健康管理や心理的配慮に努めることといたします。

#### 3. 具体的な運用上の留意点

大会におけるアンダーウェアの着用については、「ユニフォーム規程詳解」にて示されたアンダーウェアに関する新しい基準を、現場での判断基準として採用します。

##### 【JVA ユニフォーム規程詳解 8 アンダーウェア】

アンダーウェアは着用しても良い。

ユニフォームの袖や裾、首等からはみ出しても良い。

①チームで色を統一しなくてもよいが単色であること。

（チームメンバー全員が着用する必要はない。長さ・種類は異なってもよい。）

②アンダーウェアの色はユニフォームのメインカラーと同色が望ましいが、ユニフォームの視認性・判別性を下げない色でも認められる。

#### 4. 選手番号等およびリベロプレイヤーの判別について

同詳解には、ユニフォームに表示する文字や選手番号、リベロプレイヤーのカラーについても詳細な解説がなされています。近年、判別しにくい選手番号やリベロのユニフォームが散見されますので、同資料の図解等を参考に、誰が見ても一目で判別できる明確な対比を確保した運用を徹底してください。

#### 5. 今後の対応について

JVA による規程の整備・定着を見極めた上で、適切な時期に本専門部の規程改定を検討いたします。それまでの期間は、本通知による運用対応を継続いたします。

以上

## 1. ユニフォーム

## (1)ユニフォーム

- ①ユニフォームとはゲームシャツ、ゲームパンツ、ソックスを指す。
- ②ユニフォームは配色やデザインが統一されていなければならない。(リベロプレーヤーを除く)
- ③チームは、カラーの異なった2種類のユニフォーム(ゲームシャツ・ゲームパンツ)を用意することが望ましい。
- ④リベロプレーヤーはチームの他の競技者とはっきりと区別できる対照的な色のユニフォーム(少なくともゲームシャツだけは)を着用しなければならない。(左右対称とか上下対称ということではなく、はっきりと区別できるデザインであること。)リベロが2名の場合、リベロはチームの他の競技者と異なる色で、さらにお互いに異なる色のユニフォームを着用することもできる。

## (2)ゲームシャツ・ゲームパンツ

- ①ゲームシャツおよびゲームパンツは色、デザインが統一されていること。
- ②ゲームシャツは半袖、長袖、ノースリーブが混在していてもよい。<sup>※1</sup>

※1 JVA 資料にある通り、2027年4月以降、混在が認められなくなります。  
本専門部においても将来的に統一を求める方向ですので、新たにユニフォームを作成される際には形状を統一するようにお願いします。

- ③ゲームシャツの裾については、ゲームパンツに入る形状のみとする。<sup>※2</sup>

※2 高体連独自の規定です。JVAの規定と異なります。

## (3)ソックス

- ①色および長さが統一していること。

## (4)トレーニングウェアの着用

- ①気温が規定を下回る場合には、主審の許可を得て、全員が統一したデザインで競技者番号のついているものに限り着用することが出来る。

## 2. 競技者番号

- (1)ユニフォーム(ゲームシャツ)には、競技者番号がユニフォームとはっきりと区別できる対照的な色で、明確に表示されていなければならない。
- (2)競技者番号は1～20番までとする。ただし、やむを得ない場合は1～99番まで認める。
- (3)競技者番号のサイズは、次の通りとする。

	高さ	字幅
①シャツ胸部・中央	15cm以上	2cm以上
②シャツ背部・中央	20cm以上	2cm以上

- (4)ゲームパンツ前面右下に、高さ4～6cm、字幅1cm以上の競技者番号を付けてもよいが、全員がそろっていないなければならない。

## 3. チームキャプテン

- (1)チームキャプテンは、胸のナンバーの下に長さ8cm、幅2cmのマークをゲームシャツと異なった色で付けていなければならない。

#### 4. チームネーム

- (1)ゲームシャツの胸部もしくは背部に学校名または学校略称を付けなければならない。
- ①学校略称は正式な校名が明確にわかるものとする。
  - ②校章や学校公式ロゴを付けてもよい。ただし、学校で規定されていないチーム独自のマークなどについてはこれを認めない。
- (2)ゲームシャツに所属する都道府県名を付けてもよい。ただし、文字のサイズは学校名または校名略称よりも小さくすることとする。
- (3)ゲームパンツに校名を入れる場合には(1)の規定に準じる。

#### 5. マニファクチャーロゴ

- (1)公益財団法人日本バレーボール協会(以下JVA)主催大会においてはJVAのユニフォーム規定に従うこととする。

#### 6. その他の表示

- (1)ユニフォームには上記2～5以外表示はつけてはならない。

#### 7. トレーニングウェア

- (1)トレーニングウェアは全員が統一されていることが望ましい。
- (2)トレーニングウェアには学校名、選手番号を付けることができる。

#### 8. アンダーウェア等について

- (1)アンダーウェアはユニフォームの袖や裾、首等からはみ出してはならない。ただし、プレーの動作によってユニフォームの下から見えてしまうことは故意に見せるものでない限り制限されない。<sup>※3</sup>

※3 JVAでは規定の変更を行いました。高体連では今回の改訂は行わず通知の通り運用にて対応いたします。

- (2)医療を目的としたサポーター類は、プレー上危険ある場合や、プレーに有利に働く場合を除いて、規制されない。
- (3)腰に帯状にまくサポーター・コルセット類はユニフォームの下に着用しなければならない。

#### 9. チーム役員の服装

- (1)全国高体連が主催する大会におけるチーム役員の服装については以下の通り規定する。ブロック大会ならびに都道府県大会における本規定の適用範囲については主催者の判断とする。
- (2)チーム役員は、ジャケットを着用するか、チームで統一された服装でなければならない。
- (3)監督がジャケットを着用し、その他のチーム役員が統一された服装であれば許可される。
- (4)統一された服装であっても、Tシャツ等の襟の無いものや、短パン、ハーフパンツは許可されない。<sup>※4</sup>

※4 チーム役員の服装で「襟の無いもの」の禁止は高体連独自の規定です。JVAの規定と異なります。

令和5年1月制定

追補 宣伝広告付きのウエアの着用禁止については別途通知「大会参加チーム構成員のウエアについて」に記載がありますので、ユニフォームだけでなく、大会会場で着用するウエアについてもご確認ください。

2026年3月26日

各都道府県高体連バレーボール専門部 委員長様

(公財)全国高体連バレーボール専門部

部長 早川 礼文

## 大会参加チーム構成員のウェアについて

全国高体連の指導によりバレーボール専門部常任委員会では、全国、ブロック、都道府県高体連が関わる(主催・共催・後援・主管等)大会の会場内において参加チーム構成員が着用するウェアに宣伝広告をつけることを禁止します。

備考)

適用するエリア・・・大会会場内(但し、大会によっては春高バレーのように主催者の判断により会場敷地内での着用を禁止することもあります。)

参加チーム構成員・・・大会に参加するチームの選手、スタッフ(引率責任者、監督、コーチ、マネージャー、トレーナー、補員、モッパーパーなど)、大会に選手登録されていない部員

ウェアに表示可能な内容・・・ユニフォームに準ずる

<別紙>

## 1 体罰根絶全国共通ルール制定のねらい

本ルールは、本連盟「競技者及び指導者規程」の第6条（指導者のあり方）及び第7条（罰則）に基づき、「体罰を行った指導者は、高体連主催大会には出場できません。」という高体連としての考え方を全国共通の具体的ルールとして制定する。体罰を行った指導者への詳細な罰則規定をつくるのが目的ではなく、本ルールの趣旨や内容を全ての運動部活動指導者、生徒、保護者、そして、社会全体にまで広く周知することにより、運動部活動にかかわる体罰の発生を未然に防止することをねらいとする。

## 2 体罰根絶全国共通ルール

- (1) 指導者（監督、コーチ、顧問教諭、外部指導者等）に関するルール
- ア 体罰を行った指導者については、原則として当該体罰に対する各教育委員会又は各学校の指導措置・処分等が確定後1年間、高体連主催大会に出場できないものとする。（選抜大会を含む）
- イ 体罰を行った指導者については、原則として高体連の役職を解くものとする。  
また、当該体罰に対する各教育委員会又は各学校の指導措置・処分等が確定後1年間、原則として高体連の役職に充てない。
- (2) 本ルールは、平成26年7月1日より施行適用する。

## 3 体罰根絶全国共通ルールの運用について

- (1) 本ルールにおける体罰は、平成25年5月文部科学省の「運動部活動での指導のガイドライン」にある「体罰等の許されない指導と考えられるものの例」を参考にして、適用の対象とする。  
参考：[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/sports/jyujitsu/1335529.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/jyujitsu/1335529.htm)
- (2) 本ルールの適用に当たっては、該当指導者に対する各教育委員会又は各学校の指導措置・処分等が確定した後、該当校の校長が、該当指導者本人の了解を得た上で、別紙様式により各都道府県高体連に報告する。
- (3) 運動部活動にかかわる場面での体罰について、本ルールを適用する。  
（ミーティング中、部員への個別指導中、運動部の寮生活等の場面を含む。）
- (4) 各教育委員会又は各学校の指導措置・処分等の内容に、大会出場停止や高体連の役職停止の期間がある場合は、その期間を本ルールの1年間の中に含むこととする。
- (5) 本ルールを適用される指導者は、適用される旨の連絡を受けた日から2週間以内に、（公財）全国高等学校体育連盟会長宛に不服申立書を提出して不服を申し立てることができる。ただし、本ルールそのものに関する不服申立てを除く。